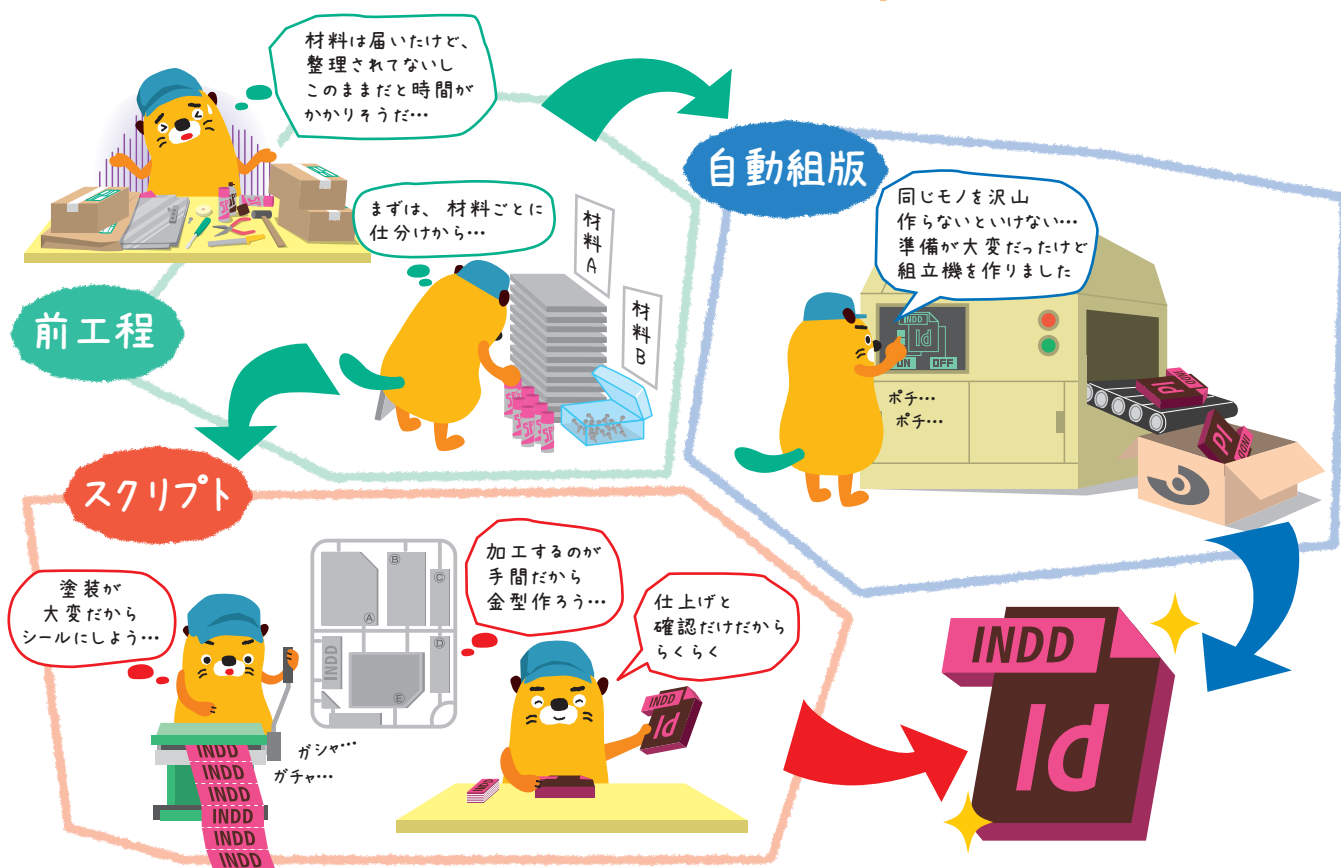


スクリプト活用による書籍制作の効率化

DTP制作においては、スクリプトを使って操作を自動化することにより、編集業務や組版作業の大幅な時間短縮、省力化を図ることができます。当社の活用実績をご紹介します。スクリプト開発も承っています。

明昌堂の組版 速さの理由



■スクリプトとは

スクリプトとは、プログラミング言語の中でも記述や実行が比較的簡易な「スクリプト言語」で書かれたプログラムです。

書籍制作の効率化というと、自動組版が思い浮かびます。自動組版はデータベース化した情報からページを正確に、短時間で組み上げることができます。

しかし、ページを組み上げることだけではなく、管理するのに最適な状態にデータを整理したり、組版作業を効率的に行うために前もってデータを加工したりすることもDTPにおいては欠かせない作業です。

そういった作業を支援するのがスクリプトです。当

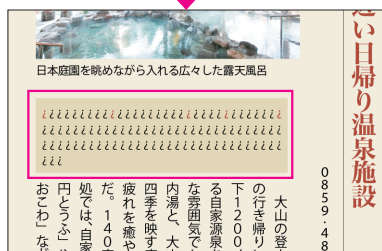
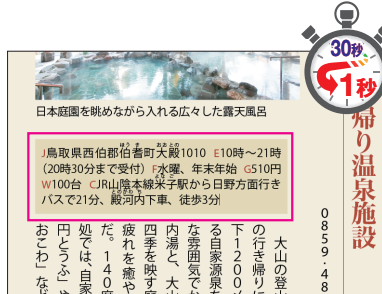
社ではスクリプトを活用して、自動組版には向かないような商品でも、細かい部分の自動化を複数行うことでフロー全体を効率化しています。

また、作業を自動化することにより、人為的なミスを最小限に抑えることができます。正確性や安全性の向上もスクリプト活用の大きなメリットです。

当社が開発したスクリプトによって、どれだけ作業時間が短縮できたか、実例を裏面でご紹介します。

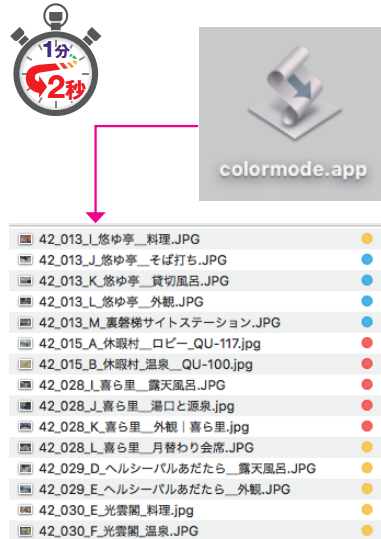
データの管理、入稿準備といった編集業務にもスクリプトは活用できます。お客様の要望をお聞かせいただければ、そのニーズに合わせたスクリプトを当社で開発し、ご提供いたします。

テキストフレーム内の文字を自動的にダミー文字に置き換え



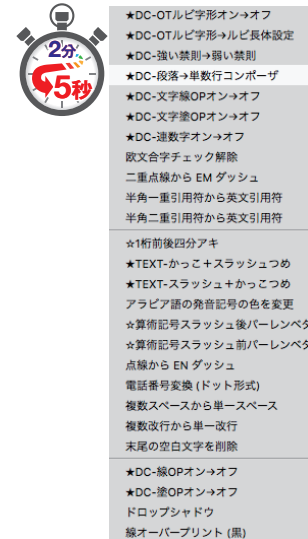
当社には、他のページから体裁を流用する場合、流用する部品内に流れていた文字をダミー文字に置き換えてからレイアウトするルールがあります。このルール実行を支援するため開発したのがこのスクリプトです。選択しているテキストフレームに流れている文字を、自動的に当社規定のダミー文字に置き換えます。

画像データのカラーモードを自動判断してラベル付け



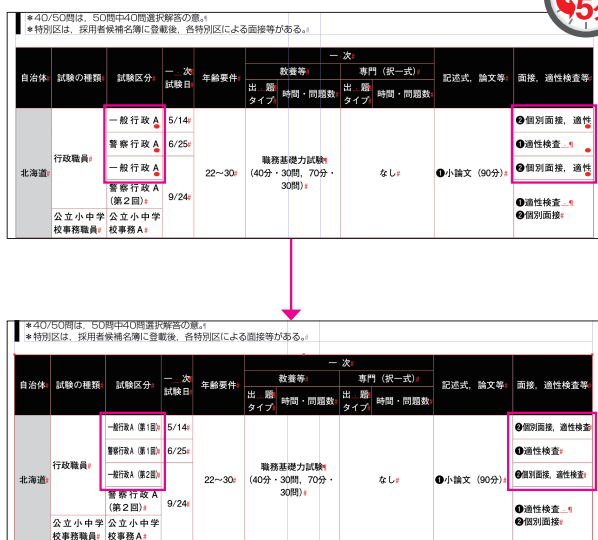
当社に入稿された画像データは、入稿された状態のカラーモードに応じて、適切な画像処理が行われます。大量の画像データを1点ずつ開いて確認するには手間がかかります。そこで、画像データをドラッグアンドドロップすることで、カラーモード毎に自動でラベルが付くスクリプトを開発。RGBは黄色、CMYKは赤、グレースケールは青とそれぞれのカラーモードに応じてラベルが付けられます。

複数の検索・置換項目を連続して実行する



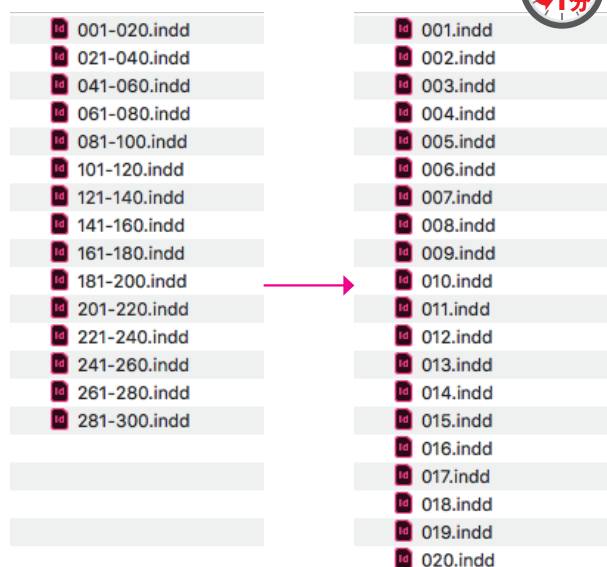
同一の体裁に一括してスタイルを設定するなど、InDesign上でテキストを処理する場面は多いのですが、InDesignの検索置換は、複数の設定を一括して行うことができず、検索・置換項目の数だけ同じ工程を繰り返さなければいけません。これを連続して行うスクリプトを活用し効率化を図っています。複数の検索・置換項目を一括して処理することが可能で、その数が多いほどより効果的です。

大量の表組みセル内の文字に自動的に長体を設定する



セル内の文字を長体で1行に収めなければいけない作業をスクリプトで効率化。すべてのセルを選択しスクリプトを起動することにより、1行のスペースに収まるまで自動的に長体をかけます。手作業と比べ作業時間は10分の1以下になりました。

大量なページのInDesignドキュメントを1ページ1ファイルに切り分ける



お客様より約300ページのInDesignドキュメントを1ページ1ファイルにしてほしいとの要望をいただきました。手動で行えば2時間程度かかる作業ですが、スクリプトを使うことで数十秒で処理完了。人為的ミスも防止できます。